

# 改造コンデジ報告

羽澤良裕

今回は直焦点コンデジのテストと従来写真比較を報告致します。

## 1. 機材

(1)コンデジ : PENTAX RZ10 改造 総画素数 約 1453 万画素、1/2.33 型 CCD

(2)アダプタ : 自作。42 mm リングが使える。アイピースはビクセンバローからレンズを外したものに装着。

(3)アイピース: 顕微鏡用(オリンパス)焦点距離は12.5 mm 相当

(4)撮影 : 手動で焦点を合わせて、セルフタイマーを使う。

アイピースを使った拡大撮影です。動画撮影しかできません。ccd が小さいので、拡大率が高くなります。

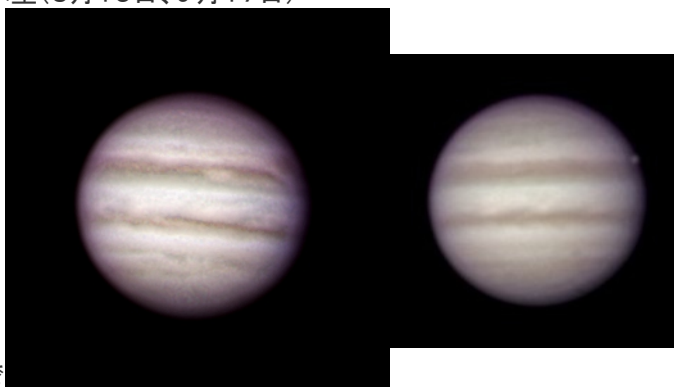
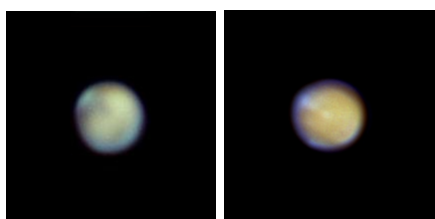
望遠鏡は変更なしですが、従来のバロー+アイピース+コンデジレンズと比較してレンズの数が少なく、シンプルになった為、画像是シャープになりました。接眼部の負担も減り、光軸ズレもなくなりました。

## 2. 惑星でのテスト

季節柄、期待はできません。それなりにです。

(1)火星(3月9日、3月15日)

(2)木星(3月15日、3月17日)



registax のおかげではありますが、10センチ反射でこの時期にここまでたどりつく。5月以降を期待しつつ撮影を続けていきます。次回からはもっとも苦手な土星に挑戦です。

## 3. 月面拡大

宿題となっていた月面拡大撮影ですが、惑星同様、この時期ですから、あまり期待はできませんでしたが、予想に反して、「意外と良く撮れてる」でした。以前報告した(2012年)「案外撮れる」と比較します。前回は秋に撮影したものです。

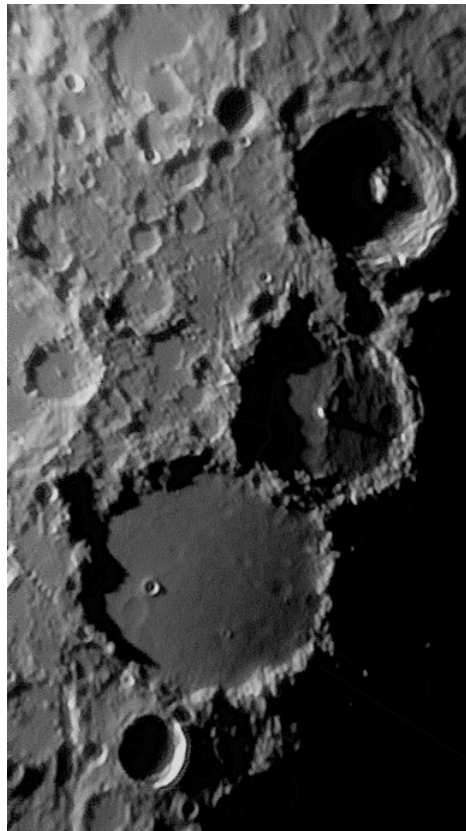
2012年秋?

2014年3月9日

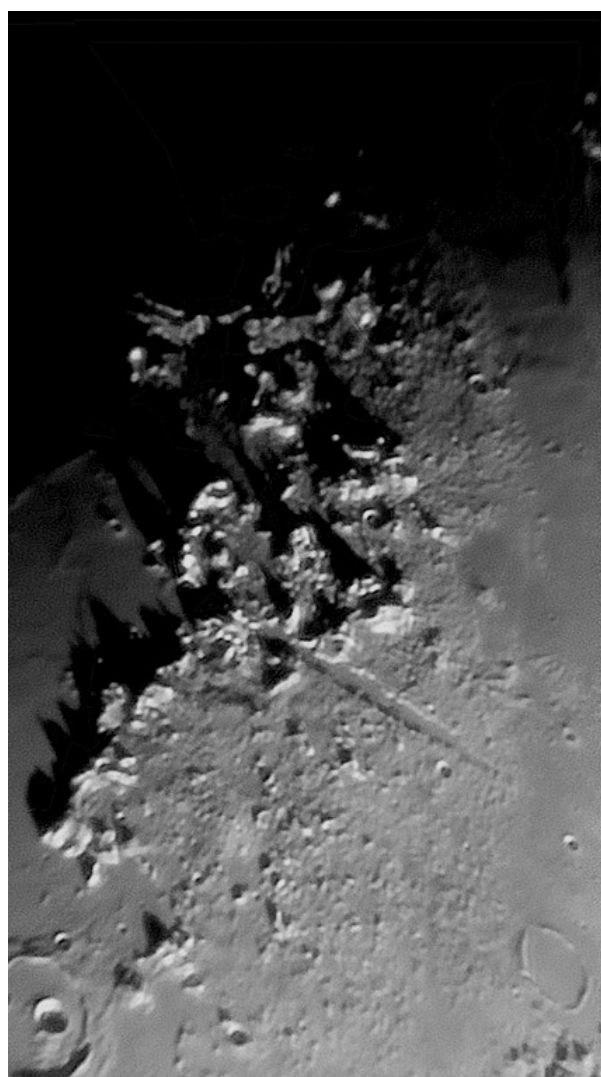
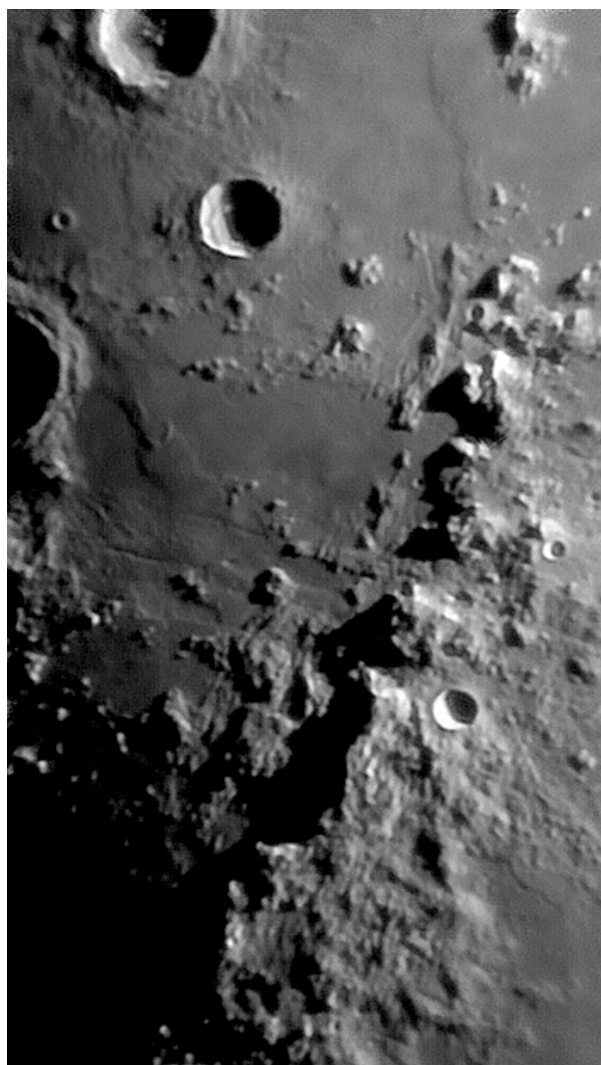


左写真  
2倍バロー  
+25 mm 撮影  
レンズ  
+2倍ズーム

右写真  
12.5mm 相当  
拡大撮影



撮影条件が違い、単純には比較できませんが、解像感が違いすぎます。もちろん画像処理も上達してはいますが。



1280×720 動画(30 フレーム/秒)10秒を registax 6で処理(マルチポイント100箇所位。autoだと多すぎるのか継目が出てしまう)、gimpで仕上げます。



#### 4. 5年前に買った本

月の観察で入門編といえはこの1冊です。よくまとまっていてわかり易いです。これを読んでから月に決めました。こんな感じに写真を撮り終えるにはあと何年かかるのか、趣味として気長にやっていくには丁度よいのかもしれない。

#### 5. 望遠鏡について

五藤の10cm屈折(限定22本)、欲しいです。現在では小口径の部類ですが、やっぱり五藤でしょう。小学生の夢でした(小学校にあった望遠鏡はユニットロン)。いつ発売になるのでしょうか？